

いつくしみふかき (星の界)

讚美歌312番

□□□

1
 いつくしみ深き
 友なるイエスは
 罪(つみ) 咎(とが) 憂(うれ)いを
 とり去りたまは
 こころの嘆きを
 包まず述べて
 などかは下(おろ)さぬ
 負える重荷を

2
 いつくしみ深き
 友なるイエスは
 われらの弱きを
 知りて憐れむに
 悩み悲しみに
 沈めるときも
 祈りにこたえて
 慰(なぐさ)めたまわん

3
 いつくしみ深き
 友なるイエスは
 かわらぬ愛もて
 導きたもう。
 世の友われらを
 棄て去るときも、
 祈りにこたえて
 労(いたわ)りたまわん

いつくしみふかき

讚美歌312番

1



いつくしみ深き
友なるイエスは
罪^(つみ)咎^(とが)憂^(うれ)いを
とり去りたもう
こころの嘆きを
包まず述べて
などがは下^(おろ)わぬ
負える重荷を

いつくしみふかき

讚美歌312番

2

いつくしみ深き
友なるイエスは
われらの弱きを
知りて憐れむ
悩み 悲しみに
沈めるときも
祈りにこたえて
慰(なぐさ)めたまわん



いつくしみふかき

讚美歌312番

3.

いつくしみ深き
友なるイエスは、
かわらぬ愛もて
導きたもう
世の友われらを
棄て去るときも、
祈りにこたえて
労(いたわ)りたまわん